



All Seigakuin Fellowship

No.53

Jun.2015

ASF NEWS

特集 聖学院小学校新校舎完成記念

- ・写真で見る新校舎
- ・喜びの声／お祝いの言葉



新校舎での初めての運動会 (5月)

2015年1月から新しい校舎での生活がスタートしました。ご協力ありがとうございました。

インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード (VISA, MasterCard) をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォン、携帯電話からインターネットによるお手続きができます。詳しくは右記URL、QRコードからご参照ください。

●オール聖学院フェロシップ (ASF) 寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>

(本誌 p.13 もご参照ください)



住所変更・お問い合わせは各校へお願いします

- ◎聖学院大学総務課
(大学院・女子聖学院短大) …… (048) 781-0925
- ◎聖学院大学附属みどり幼稚園 … (048) 622-3864
- ◎聖学院中学校高等学校 …… (03) 3917-1121
- ◎女子聖学院中学校高等学校 …… (03) 3917-2277
- ◎聖学院小学校・幼稚園 …… (03) 3917-1555
- ◎学校法人聖学院ASF事務局 …… (03) 3917-8352

Love God and Serve His People

聖学院

〒114-8574
東京都北区中里3-12-2

聖学院各校の教育充実のために ご協力をお願いします。

目 次

[巻頭言] 今こそ聖学院のさらなる一致団結を	1
－ 聖学院小学校新校舎完成を契機に －	
学校法人聖学院 常務理事 峰田 将	
 ●特集 聖学院小学校新校舎完成記念	2
写真で見る新校舎	
「新校舎完成おめでとうございます」お祝いの言葉	
 連続コラム	5
私が出会った聖書のことは（第二十回・松本周 聖学院キリスト教センター主事）	
 トピックス	6
女子聖学院創立 110 周年記念事業関連	
 各校ニュース	6
ホームカミング情報	9
2016 年度入試案内	10
オール聖学院フェロシップ規則	11
ASF 募金要項	12
2014 年度プロジェクト別内訳／インターネットでの寄付のお申し込みについて	13
税制上の優遇措置について	14
ASF 募金「振込用紙」の書き方について	15
2014 年度 ASF 募金報告（募金者名簿）	16
2015 年度 ASF 推進委員一覧	20

今こそ聖学院のさらなる一致団結を

— 聖学院小学校新校舎完成を契機に —

学校法人聖学院 常務理事 峰田 将

今年は聖学院小学校が大変素晴らしい、明るい校舎を完成させることができました。

多くの皆様の尊いお捧げものと関係者の献身的努力によるものと深く感謝する次第です。いつ襲ってくるかわからない大震災から子供たちを守り、安心して学習に励めるようにと願う多くの方々のお志を結集して建てられたこの校舎は、児童たちに素晴らしい環境を与えてくれており、安心に包まれて喜々として充実した学校生活を続けております。

先年の幼稚園に続き、この小学校の完成は、まさにオール聖学院のお志の結晶と言うべきものです。今や極度に進んだ我が国の少子化の傾向は、私学の経営に厳しく迫っており、私たちはこの問題に真剣に立ち向かわなければならない時を迎えております。我が聖学院が100年余にわたり掲げ続けてきた教育の理念は、この混沌とした時代にますます重要性を増してきています。学校教育において、ますます複雑化する社会に対応すべき人材を育成することに力点が置かれるあまり、真の人間形成の業がおろそかになり、人間としての生き方を学ぶ機会が失われつつあります。さらに画一的な道徳教育が押し付けられる事態を迎え、ますますその危機は迫ってきていると感じます。いまこそ我が聖学院の出番であることを強く自覚したいものです。

聖学院という学校法人は、決して大きな法人ではありませんが幼稚園から大学まで、各年齢層に

対応できる教育の場が存在する素晴らしい教育機関です。今我々の課題は、それぞれの伝統を尊重しながらも相互に連携を強め、一体性を深めていくことです。各

教育機関がお預かりしている園児・児童・生徒・学生に対して全体的な視野から配慮されたプログラムを進めていくことです。またそれぞれが保有する、施設・設備や人材なども相互に活用しあうことで、小さな法人ならではの一体性が図られていくものと思います。さいわい聖学院にはASFという素晴らしい組織があり、聖学院全体が一致協力できる体制が組まれていることです。2002年の聖学院教育会議において宣言された『聖学院教育憲章』が全体を貫き、一致協力する視点を与えてくれています。一致団結して、相互に助け合いながら与えられた目標に向かって前進していきたいと願います。



特集

聖学院小学校新校舎完成記念

写真で見る新校舎

—2014年12月新校舎完成—



Love God and Serve His People

聖学院小学校

子どもたちが描いた「夢の校舎」と、教育者の願いを紡ぎ合わせた、待望の新校舎が完成いたしました。新校舎は、子どもたちが友だちとの交わりの中でお互いに成長していけるよう、学習面と生活面のバランスのよい成長のために、快適に過ごせるよう様々な工夫がなされています。



算数のグループ学習の様子。今後、教員と児童が知識と知恵を共有していくワークショップ型学習が増えていく予定です。

各教室の前に広がる空間

各クラスの前には、一般的な廊下とは異なるオープンスペースが広がり、授業中でも壁に遮られることなく移動することができます。



スクールランチは、クラスや学年の垣根を越え、同じものを皆で一緒にいただきます。協力しながら語らう豊かな時間を過ごします。

学年を越えた交わり

オリーブホールは、学びや語らいの場として自由に利用するほか、お昼の時間はランチスペースになります。



4F

音と光の フロア

校舎の最上階、5・6年生の教室、音楽室、ギャラリースペースがあり、光に包まれた空間で勉強だけでなく感性も磨きます。



3F

学問と知恵の フロア

3・4年生の教室、図書室、ラーニングcommonsがあります。学びを通して得た知識を知恵として身に付け、生きる力とします。



2F

風とルーアッハの フロア

1・2年生の教室、職員室、はこぶねルームなどがあります。新校舎のエントランスで、子どもたちと先生たちが出会う玄関口です。



1F

出会いと交わりの フロア

オリーブホール、イングリッシュルーム、家庭科室、理科室、図工室などがあり、学年をこえた学びと交わりが成長を育みます。



B1F

祈りのフロア

チャペルは、イエス・キリストが私たちを底辺からしっかり支えて下さっていることを象徴して、校舎の地階に配置しました。



イングリッシュルーム



ラーニングcommons

新校舎完成に寄せて

聖学院小学校PTA会長 内山浩幸

2015年、年明けとともに新校舎で新たな歩みをスタート出来ましたことに感謝申し上げます。

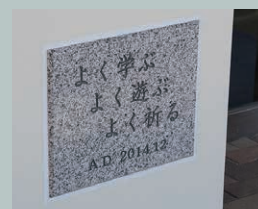
50年余りの良き伝統のうえに、時代に相応しい環境が整った新校舎は、最新のICT設備に加え、各教室前には広々としたオープンスペースが設けられました。子どもたちはより充実した教育が受けられ、楽しく豊かな小学校生活が出来ることと思います。

夢と希望が詰まった校舎でこれからどんな歴史が刻まれていくのか楽しみです。

新校舎建築にご尽力下さった教職員の皆様や、お支えいただいた多くの関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



2014年12月 新校舎定礎式



定礎板に彫られた教育目標
「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」

「新校舎完成おめでとうございます」 お祝いの言葉

新校舎完成に、各校の同窓会、後援会の皆様よりお祝いの言葉をいただきました。ここにご紹介いたします。



聖学院幼稚園同窓会

聖学院幼稚園同窓会 会長 本橋 喜久子

聖学院小学校新校舎完成、おめでとうございます。

1月31日の竣工式の日には、新しい校舎を見せていただき、素敵な素晴らしい校舎に出来上がったことを嬉しく思いました。この日はご招待の日であった為、子どもたちの姿はありませんでしたが、目を輝かせて取り組む子ども、友だちと笑顔で楽しそうに話す子ども、元気に走り回っている子どもの姿が、一つひとつの新しい空間の中に浮かんできました。新しく始まるスクールランチも、楽しいひとときになりそうです。

女子聖学院翠耀会

女子聖学院翠耀会 会長 大野 碧

新校舎完成、おめでとうございます。

1958年に女子聖学院創立50周年記念事業としてPTA、翠耀会が協力して募金を行い手に入れた校地に、59年に校舎が建築されました。その年9月から高等部の生徒が同校舎を使用し、61年女子聖の旧校舎が完成するまで高校の学びの場でした。60年に女子聖の中で誕生した小学校が、高校が移動した後使用し続けました。新しい校舎は外観に旧校舎の面影を残し、そこで学んだ当時の高校生、聖小の卒業生にはどこか懐かしいものになっています。「神を仰ぎ 人に仕う」よい教育が末永く行われますよう、お祈りしています。

聖学院中学高等学校同窓会

聖学院中学高等学校同窓会 会長 吉原 愛三

聖学院小学校新校舎の完成、心よりお祝い申し上げます。

一昨年11月7日に起工式がおこなわれ約15か月の歳月を経て新校舎が完成されました。厳しい法規制の中で計画、設計、工事、まさに多大なる知識と労力が注ぎこまれたのではないのでしょうか。完成の建物を見学させていただいたとき、村山校長をはじめ教職員の皆様の思い入れが、とても強く伝わってまいりました。そして、それは聖学院小学校のカラーがにじみ出ているように感じられ、とても心地良い思いをさせていただきました。生徒一人ひとりのカラーとのマッチングにより、これからどんなカラーを見せてくれるのか、とても楽しみにしております。

聖学院大学後援会

聖学院大学後援会 会長 古屋 博規

聖学院小学校新校舎と共に！

新校舎完成を心よりお祝い申し上げます。

天地を創造して下さった神様の働きや思いが、新校舎完成に込められています。神様に息を吹きかけられ人が生きるものとされた様に、聖学院小学校も、多くの人々が行き交う素晴らしい場所となる事でしょう。関わるおひとりおひとりが、神様からのバトンに息を合わせ、心を合わせて、平和をつなぐ者となられますようお祈り致します。



聖学院小学校起工式の様子（2013年11月7日）



聖学院小学校旧校舎 52年間使用
(1961年～2013年)

私が出会った聖書のことば（第二十回）

しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。
(ルカによる福音書 22章 32節)



聖学院キリスト教センター主事
(聖学院大学人文学部欧米文化学科 第1期生)

松本 周

まさか、人生の中に「祈れない」局面が訪れようとは…。2011年3月11日、東日本大震災から数日間のことです。あまりの衝撃の大きさゆえにか、祈ろうとしても祈りの言葉が出てきませんでした。その苦しみの最中、イエス・キリストの言葉が胸に響いてきました。「わたしはあなたのために祈った。」自分の力でどうにもできない状況にあるときに、私の悩み、苦しみ、痛み、咎、傷、すべてを背負い祈ってくださいる方がいる。この御言を通して、もうひとたび十字架のキリストと出会いました。

※聖学院諸学校で牧師として活躍しておられる先生や、卒業生に原稿をお願いしています。

【第1弾】 オルセースクールミュージアム開催

5月17日～31日

フランス国立オルセー美術館公認のリマスターアート（超高精細復原画）32点を間近で鑑賞できる展覧会として、4,000名以上の多くの皆様にご来場いただきました。

通常の美術館では体験できないような、虫眼鏡やペンライトで照らしての鑑賞や模写、写真撮影なども楽しんでいただきました。多くの皆様と共に創立110周年をお祝いし、感動を共にすることができましたことを、そして保護者の皆様のボランティアによって受付などの運営が担われましたことにも、心から感謝申し上げます。



クローソンホールの空間と雰囲気
がいかされた展示



103名の生徒ボランティアが
「アートコンシェルジュ」としてガイ
ド役を担ったほか、授業のなか
でも展示をいかした取り組みが展
開されました

【第2弾】 110周年記念 教育講演会

日時 / 2015年7月20日（月・祝）13:00～14:45

講師 / ルース・ジャーマン・白石氏

講演題 / 世界に誇れる日本の美点 ～日本的なグローバル化を目指して～

※ 講演後に卒業生の清水若菜さんによるピアノコンサートがあります

※ 予約制／6月20日より受付開始

【問合せ先】 女子聖学院中学校高等学校 TEL.03-3917-2277（代表）
03-3917-5377（広報室直通）



ルース・ジャーマン・白石氏

各校ニュース

あすの教育の基礎を固めるために

いつも本学院教育へのご理解・ご支援を賜り心から御礼申し上げます。皆様のご支援により、2012年に聖学院幼稚園園舎、2014年には聖学院小学校校舎の改築をすることができました。今何よりも園児・児童たちが安心して元気いっぱい活動している様子を見て、神に、また皆様に深く感謝申し上げる次第です。今後はさらに、あらゆる知恵を凝らしながら本学院の将来構想と各校・園の諸建物の耐用年数を基とする総合計画により、改築に取り組まねばなりません。加えて近年の地殻活動の活発化による突然の地震災害なども嚴重

に動向を正確に調べながら対応しなくてはなりません。そのことが学生・生徒・児童・園児らの安心して学べる環境づくりになり、あすの聖学院教育の基礎を固めることになります。私たち学院も懸命に財政健全化に向けて全力を投じておりますが、施設・設備の改善はASF（税制の恩典がございます）を通した聖学院を愛する方々のご支援なくして達成できません。どうかご賢察をたまわり、今後ともASFへのご協力のほどお願い申し上げます。

（学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸 光晴）



聖学院大学

今年度より、清水正之（前副学長・前人文学部長）が第7代学長に就任しました。

前学長が主張された大学改革等引き継ぐべき点は引き継いでいく決意をしています。

引き継ぐべき点の一つに施設整備があります。前学長が実行されたキャンパス整備（南キャンパス緑化）はその一つです。昨年秋の芝張りから六ヶ月を経てようやく保護のため張られていたロープが、ゴールデンウィーク明けに外されました。学生たちは思い思いに芝生の上で、仲間とおしゃべりしたりお弁当を広げたりして整備された中庭を楽しんでいます。

しかし大学キャンパスには、法人内の各学校に比べ敷地も広く、建物も多くあるため、充実・改善を図らなければならない施設も多くあります。学生募集の点からも更なる施設充実が必要です。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

（学長 清水 正之）



南キャンパス整備では4号館1階にコンビニとカフェスペースが増設されました



女子聖学院中学校高等学校

創立110周年の記念の年を、皆様への感謝を覚えつつ、151名の新入生と共にスタートいたしました。記念事業『オルセースクールミュージアム』では、保護者の皆様のお働きと、後援会、卒業生の皆様のお支えのもと、4000名を超えるお客様をお迎えすることができました。本年度は、国際理解教育のバージョンアップと学習サポート体制の充実に努めます。希望制だった体験型の英語学習プログラムが中1～高2で必修となり、全ての生徒が異文化に出会う経験をいたします。9月にはラーニングセンターを開設し自学習をサポートします。神様のことば

を心に携え、明るさと、自ら学び発信できる力を備えた生徒をこれからも育てて参ります。女子聖学院を支えてくださっている皆様に心から感謝を申し上げます。

（校長 田部井 道子）



聖学院中学校高等学校

先日糸魚川農村体験学習は30周年を迎えた。農業体験と称するものは数多あるが「農村体験」というコンセプトはない。日本人の主食のコメの生産地の農家に3泊も泊めていただくのは世界でも稀有なことで、きわめて貴重な経験だ。30年間で宿泊農家千二百戸以上、参加生徒約6千名に上っている。

ジオパークの充実ぶりには目を見張るものがあった。そのジオパークの敷地内に「農村体験発祥の地」の石碑を建てた。現地での記念会はPTA、後援会、同窓会からの参加を得て盛大に和やかに催された。糸魚川市長さんより末永くお付き合いくださいと温かいお言葉をいただいた。この企画が実行される前年聖学院からお願いのための説明を開いた折り、いくつか質問や不安が農家から出された。腕組みして聞いていた老農が居住まいをただし、一言「オイこれは断る理由がない」ときっぱりと言われた。その場はしんとしなり翌年から30年続いてきた。ちなみにその敬愛する御老人は第一回目の生徒が糸魚川に到着したその時間、天に召され「東京の子らを頼む」が遺言となりました。因縁深きことだ。

（校長 戸邊 治朗）



2月21日に行われた「クエストカップ2015全国大会」で、中学3年生の「UDON」チームが全国1位（グランプリ）に選ばれました

（次頁へつづく）



聖学院小学校

新校舎になり初めての運動会が5月23日に開催されました。天候にも恵まれ、子どもたちが日々積み重ねてきた成果を発揮した素晴らしい一日となりました。旧校舎よりグラウンドが狭く、ご不便をおかけすることもあったのではないかと存じますが、保護者の皆様をはじめ、多くの方々にご来場いただき心より感謝を申し上げます。なかでも、未就学児を対象としたプログラムには、例年以上にたくさん子どもたちが参加してくださり、用意していた170個のプレゼントが足りなくなってしまうほどでした。この運動会の経験の一つひとつが、子どもたちの成長を支える糧となるよう、これからの子どもたちの歩みにつなげていきたいと願っています。

皆様のお支えにより新校舎を与えられ、新しい聖学院小学校の営みが始まりました。今後とも皆様の変わらぬお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(校長 村山 順吉)



聖学院幼稚園

幼稚園にいらっしゃるほぼ全ての方がおっしゃる新園舎の印象は「明るくて、開放的である。」ということです。そんな園舎で子どもたちは毎日元気に伸び伸びと生活しています。今年度入園した子どもたちも幼稚園生活に慣れ、元気に登園しています。

昨年末に小学校の新校舎が完成し、今年の初めから小学校の子どもたちが同じ敷地に帰ってきました。小学校とは2階のベランダから一度外に出ることなく行き来することができるようになりました。園児が小学生と交流する機会も増えることになるでしょう。

また互いの施設を融通し合うことで園舎、校舎の有効活用がさらに進みつつあります。小学校の運動会では幼稚園の2階ベランダを観覧席として開放しました。また剣道クラブが保育後のホールを使って練習しています。

幼稚園は小学校が使用していないとき、チャペル、校庭、体育館、プールなどを使わせていただいています。

幼稚園の園舎建築のための借入金返済は今しばらく続きます。引き続き皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(園長 佐藤 慎)



聖学院大学附属みどり幼稚園

今年度の年間聖句を、ヨハネ福音書15章より『わたしがあなたがたを愛したように互いに愛し合いなさい。』とし2015年度の歩みを開始しました。今年度は入園者数の減少もあり各学年1クラスずつの編成となりました。昨年より給食の導入や預かり保育の拡大、未就園児クラスの充実などを行ってきましたが、現時点では目に見える成果としてご報告できないことは残念です。評価されている特色を失うことなく、しかし時代の要請にも柔軟に対応できる幼稚園へと変わっていかねばならないと考えています。

昨年ASFでは40周年に向け多目的保育室として旧プータロ（ログハウス）の再建などを掲げました。その歩みは遅々たるものですが今後も確実に前進させねばなりません。引き続き本園を物心両面よりお支えいただければ幸いです。

(園長 山川 秀人)



聖学院アトランタ国際学校

「平和を作り出す国際人の育成」を目標とする聖学院アトランタ国際学校は、お陰様で今年25周年を迎えます。現在のクラスサイズは7～13名。一人ひとりを大切にする教育を目指すセインツとしては、理想的な数です。アフタースクールも軌道に乗り、外務省援助も確定し、小学生は英検準一級合格に続き、漢検、日本語能力試験等で優秀な成績を収め、また6月から韓国の教会が礼拝堂を使用するリース契約も締結し、うれしいニュースが続いています。

さて、25周年を記念して、毎日アスファルトの駐車場場で体育や遊びをしている小学生のために、また幼稚園のプレイデーのために、小さくても安全に遊べる運動場を確保するのが私たちの夢です。夏からファンドレージングに力を入れていきますので、ご協力をお願い申し上げます。

(校長 エイハーン みな子)

ホームカミング情報(2015年度)

今年度開催のホームカミング情報です。ぜひ、ご参加ください。

(2015.6.18現在)

学校名・行事名		日時	対象	概要
聖学院大学附属 みどり幼稚園	つくしの会	5月23日(土) ※終了	小～中学生 卒園者と保護者	ご家族を連れてのご参加も歓迎いたします。 軽食をいただきながらのアットホームな会を予定しています。
	同窓会	7月20日(祝・月)	高校生以上の 卒園者と保護者	
聖学院幼稚園	ホームカミング	2016年 3月21日(祝・月)	2000年度 (2001年3月卒)	2016年1月に成人式を迎えられる卒園生とその保護者の皆様とお祝いし、旧職員もお迎えして楽しいひとときを過ごしましょう。
聖学院小学校	同窓会 「ぶどうの木」 総会	6月13日(土) ※終了	卒業生、後援会員、 現旧教職員	会場：聖学院小学校 本校の同窓会総会は後援会(卒業生保護者の会)の総会も兼ねているので、卒業生とその保護者の方がご参加くださいました。総会後は、新校舎のホールで歓談のときを過ごしました。
女子聖学院中高	ホームカミング	6月6日(土) ※終了	高57回生	礼拝、記念撮影、茶話会などを予定しています。
		9月19日(土)	高37回生	
		10月17日(土)	高47回生	
聖学院中高	ホームカミング	11月2日(月)、 11月3日(祝・火)	卒業生	11月2日(月)、3日(祝・火)記念祭の2日間ホームカミングルーム(教室)をご用意しております。今年度、58回生、83回生、107回生の卒業生の方には、先着でオリジナルグッズを差し上げます。また、3日(祝・火)の午後は、本館5階ガイホールにて、卒業生向けのホームカミング礼拝を行います。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。
聖学院大学	同窓会総会	11月3日(祝・火)	卒業生	ヴェリタス祭当日に総会を開催し、豚汁の提供のほか、同窓会ルームを開設しアルバムなどを展示予定です。 詳細は同窓会HP等でご案内します。
女子聖学院短期大学	緑朋会総会	詳細は学校法人HP等でご案内します。		

2016年度 入試案内

詳細は各学校にお問合せください。(E-MAIL の場合: pr@seig.ac.jp まで)

聖学院大学附属みどり幼稚園

行事	親子で遊ぶ会	7/15(水)・8/25(火)・9/30(水)・10/28(水)
	入園に関する説明会	9/12(土)
	夕涼み会	8/28(金)
	プレイデー	10/10(土)
	バザー	10/24(土)
入試 関連	募集人員	3歳児40名、4歳児10名、5歳児若干名
	願書配布	10/15(木)～
	願書受付・面接	10/31(土)

※見学はいつでも受け付けています。

☎ 048-622-3864 <http://www.seig.ac.jp/midori/>

聖学院幼稚園

行事	体験入園	7/17(金)・18(土)【要予約】
	入園説明会	9/5(土)
	聖学院フェア	9/19(土)
	運動会	10/10(土)
	公開保育	10/15(木)
入試 関連	募集人員	2年保育約10名、3年保育約40名
	願書配布	10/15(木)～10/28(水)
	願書受付	10/29(木)
	入園面接	10/30(金)

☎ 03-3917-2725 <http://www.seig.ac.jp/kinda/>

聖学院小学校

行事	体験授業	7/18(土)要申込
	学校説明会	9/10(木)
	聖学院フェア	9/19(土)
入試 関連	募集人員	72名(内部進学者を含む)
	願書配布	6/2(火)～配布中
	願書受付	10/1(木)～10/9(金)
	入試面接	10/17(土)
	入試日・合格発表	11/5(木)

☎ 03-3917-1555 <http://www.seig.ac.jp/prim/>

女子聖学院中学校

行事	JSGプレシャス説明会	7/8(水)・1/9(土)【要予約】
	ナイト説明会	7/29(水)・8/5(水)【要予約】
	女子聖学院体験日	8/23(日)PM【要予約】
	学校説明会	9/5(土)・10/3(土)・11/14(土)・1/9(土)
	早期入試問題対策会	10/14(水)・10/15(木)【要予約】
	入試体験会	12/5(土)【要予約】
	ミニ説明会 & 個別相談会	1/23(土)【要予約】
入試	募集人員	帰国生入試:若干名 ①70名 ②45名 ③30名 ④10名 ⑤5名
	入試日	12/13(日)帰国生入試 ①2/1(月)AM ②2/1(月)PM ③2/2(火)PM ④2/3(水)AM ⑤2/5(金)AM

☎ 03-3917-2277 <http://www.joshiseigakuin.ed.jp/>

聖学院中学校高等学校

行事	学校説明会	受験生 及び保護者 【要予約】	プレミアム説明会:7/3(金)・12/8(火) 帰国生説明会:7/22(水)・9/19(土) イブニング説明会:9/4(金) 学校説明会:9/19(土)・10/24(土)・11/28(土)・ 12/23(水・祝)・1/9(土)
入試	帰国生 入試	募集人員	(中学)A方式:15名 B方式:特に定めず 英語選抜:特に定めず (高校)推薦:15名 A・B方式:15名
		入試日	(中学)12/9(水) 英語選抜:2/1(月)AM (高校)推薦 12/9(水) A・B方式 1/20(水)
	中学	募集人員	英語選抜:特に定めず 一般:①70名 ②30名 特待選抜:①30名 ②20名 ③10名 ④10名
		入試日	英語選抜:2/1(月)AM 一般:①2/1(月)AM ②2/2(火)AM 特待選抜:①2/1(月)PM ②2/2(火)PM ③2/3(水)PM ④2/4(木)AM

☎ 03-3917-1121 <http://www.seig-boys.org/>

聖学院大学

行事	オープンキャンパス・入試相談会等:7/11(土)・7/20(月・祝)・8/8(土)・ 8/18(火)・9/12(土)・10/10(土)・11/3(火・祝)・12/12(土) 高崎相談会:7/26(日) サマースクール:8/10(月)・9/26(土) ※1月以降も相談会があります		
募集 人員	[政治経済学部] 政治経済 160名 [文学部] 欧米文化 80名/日本文化 80名 [人間福祉学部] 児童 100名/こども心理 80名/ 人間福祉 80名		
入試	AO入試 【講義型】・【英語特別】	[I期]8/22(土) [II期]9/19(土) [III期]10/17(土) [IV期]12/19(土) [V期]1/23(土) [VI期]講義型2/20(土)、英語特別3/11(金)	
	AO入試【レポート型】	【エントリー】～2/17(水)	
	公募推薦入試	[I期]11/7(土) [II期]12/19(土)	
	自己推薦入試	1/16(土)	
	一般入試	①1/28(木) ②2/3(水) ③2/20(土) ④3/1(火) ⑤3/11(金)	

※このほか、クリスチャン推薦、キリスト教関係者推薦、スポーツ推薦入試があります。詳細は下記にお問い合わせください。

※児童学科では、AO入試【レポート型】、【英語特別】、自己推薦入試、スポーツ推薦入試の募集は行いません。

※各学科の定員に達した時は、AO入試【レポート型】はエントリーができないこともあります。

☎ 048-725-6191(アドミッションセンター) <http://www.seigakuin.jp/>

聖学院大学大学院

行事	大学オープンキャンパス(上記参照)に合わせて、相談会が行われます。		
募集 人員	[政治政策学研究科] (修士課程)10名 [アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科] (博士前期)5名(博士後期)5名 [人間福祉学研究科] (修士課程)10名		
入試	入試日	[夏期]7/4(土) [秋期]11/21(土) [春期]2/20(土)	

☎ 048-780-1707 <http://www.seigakuin.jp/grad/>

オール聖学院フェロシップ規則

名称

第1条 オール聖学院の後援組織である本会は、オール聖学院フェロシップ(以下略称「ASF」という。)と称し、事務所を学校法人聖学院(以下「法人」という。)管理局に置く。

目的

第2条 ASFは、法人諸学校の設立理念の達成を目指し、オール聖学院一致の精神を高揚するとともに、その財政的基盤を確立するため法人諸学校関係諸団体の構成員及び法人諸学校の設立理念に賛同する篤志家による寄付行為を推進することを目的とする。

組織

第3条 本会は法人理事長が推薦する推進委員をもって組織する。
2 本会に推進委員長1名、副委員長若干名を置く。委員長、副委員長は法人理事長が委嘱する。
3 推進委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

活動

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。
(1) 法人への寄付行為の推進を図り、ASF法人会員、個人会員の加入促進を図る。
(2) 法人の現状について法人諸学校関係諸団体及びASF法人会員、個人会員の理解を深めることに努める。
(3) その他必要な活動を行う。

ASF寄付金

第5条 ASFの呼び掛けによる寄付金は法人に直接納入され、その帰属は法人とする。

推進委員会の開催

第6条 毎年1回6月に推進委員会を開催し、ASFの推進状況報告、推進計画等を協議する。

本会の費用

第7条 本会活動に要する費用は法人が負担する。

規則の改廃

第8条 本規則の改廃は、推進委員会の了承を受け、法人理事会が決定する。

付則

1. 本規則は1988年7月30日から施行する。
2. 法人諸学校関係諸団体は、2012年4月1日現在、以下のとおりである。
 - (1) 聖学院大学後援会
 - (2) 聖学院大学同窓会
 - (3) 女子聖学院短期大学緑朋会
 - (4) 聖学院中学校高等学校PTA
 - (5) 聖学院中学校高等学校後援会
 - (6) 聖学院中学校高等学校同窓会
 - (7) 女子聖学院中学校高等学校PTA
 - (8) 女子聖学院中学校高等学校後援会
 - (9) 女子聖学院翠耀会
 - (10) 聖学院小学校PTA
 - (11) 聖学院小学校同窓会
 - (12) 聖学院小学校後援会
 - (13) 聖学院幼稚園父母の会
 - (14) 聖学院幼稚園同窓会
 - (15) 聖学院大学附属みどり幼稚園保護者の会
 - (16) 聖学院大学附属みどり幼稚園同窓会
 - (17) 篤志家の会(現職及び退職の理事・監事・評議員・教職員及び上記以外の卒業生の父母・保証人を含む。)

ASF(オール聖学院フェロースhip) 募 金

聖学院の教育充実のための目標額達成に向けて皆様からのご支援をお願いいたします。

2015年度募金要項

2015年度募金目標額	345,000,000円
募金プロジェクト	聖学院幼稚園・小学校建築事業 (聖学院小学校50周年記念事業) 全聖学院奨学資金充実事業 施設設備充実(大学・大学院・総合研究所) 施設設備充実(聖学院中学校高等学校) 施設設備充実(女子聖学院中学校高等学校) 施設設備充実(聖学院大学附属みどり幼稚園) 施設設備充実(聖学院アトランタ国際学校) (在外教育施設のため寄付金控除の対象とはなりません) 東日本大震災救援・復興募金 (直接的な寄付を考慮しており寄付金控除の対象とはなりません) 学校法人聖学院
募金の種類等	個人・法人及び各種団体(PTA、後援会、同窓会等) 個人:1口 10,000円 法人:1口 100,000円 1口以上のご協力をいただければ幸いです。1口未満でも感謝を持ってお受けいたします。
入会・払込方法	○寄付金の納入によってASFの会員になります。 ○同封の学校法人所定郵便振替用紙にプロジェクト、口数、金額、ご住所、お名前等の必要事項をご記入の上、お振込みください。 ○学校法人所定用紙にて振込みの場合、送金手数料は無料になります。 ○クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンからインターネットによるお手続きができます。 詳しくは聖学院ホームページ(下記URL)をご参照ください。 http://www.seig.ac.jp/
その他	○入金確認後、順次、寄付金受領書(特定公益増進法人の証明書付)をお送りいたします。 ○個人のご寄付については税額控除に係る証明書を合わせてお届けします。 ○匿名でのご寄付もたまります。
お問い合わせ	学校法人聖学院ASF事務局 〒114-8574 東京都北区中里2-9-5 TEL:03-3917-8352 FAX:03-5907-7034

なお、ASF募金へのご協力につきましては毎年継続してお願いしております。
既にご寄付をいただいた方々には感謝申し上げます。

2014年度プロジェクト別内訳(2014年4月1日～2015年3月31日)

寄付総件数 1,207件 寄付金総額 349,026,961円

2014年度プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額 (円)
聖学院幼稚園・小学校建築事業 (上記のうちレンガウォール募金)	563 (361)	80,690,955 (33,450,000)
全聖学院奨学資金充実事業	47	1,476,000
施設設備充実 (聖学院大学・大学院・総合研究所)	237	67,760,100
施設設備充実 (聖学院中学校高等学校)	108	108,060,699
施設設備充実 (女子聖学院中学校高等学校)	135	87,116,541
施設設備充実 (聖学院大学附属みどり幼稚園)	38	294,000
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	5	610,000
東日本大震災救援・復興募金	45	1,108,666
学校法人聖学院	29	1,910,000
合 計	1,207件	349,026,961円

Friends of SAINTS

プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額(ドル)
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	21件	26,224.74 ドル

インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォンまたは携帯電話からインターネットによるお手続きができます。

詳しくは以下 URL からご参照ください。

●学校法人聖学院ホームページ

<http://www.seig.ac.jp/>



【ASF ご寄付のお申し込みはこちら】
のボタンをクリックすると、寄付申し込み
詳細ページが表示されます。

●オール聖学院フェロウシップ (ASF)

寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>



【インターネットからの申し込み】
のボタンをクリックすると、本学が寄付の決
済を委託している株式会社エフレジの寄付
支払いサイトへ移動し、こちらでのお手続き
となります。

税制上の優遇措置について

学校法人聖学院は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けており、日本私立学校振興・共済事業団からは、本学院を指定受取人とする「受配者指定寄付金」の承認を受けております。寄付金は個人、法人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

○個人の場合

平成23年度の税制改正により、「税額控除」と「所得控除」のいずれか有利な制度を選択いただけるようになりました。但し、「税額控除」については平成24年3月29日以降に受領したご寄付から寄付金控除の対象となります。

	税額控除 ※新たに選択可能になったもの	所得控除
控除額	$\{(\text{寄付金額} - 2,000\text{円}) \times 40\%\}$ ※1 税率に関係なく所得税額から直接控除するため、小口のご寄付に対しても減税効果が大きくなります。	$\text{寄付金額} - 2,000\text{円}$ ※1 所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得金額に比べ、寄付金額が大きい場合には、税額控除より減税効果が大きくなります。
申告時期	確定申告時（翌年1月1日～3月中旬）	
申告方法	本法人が発行した「寄付金受領書」および「税額控除に係る証明書」を所轄税務署に提出してください。	本法人が発行した「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書」を所轄税務署に提出してください。
還付される金額について ※おおよそのイメージです	例）給与収入600万円の方が5万円をご寄付された場合（所得控除・基礎控除のみ勘案した場合）	
	税額控除額： $(5\text{万円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 19,200\text{円}$ ※2 還付金額：19,200円	所得控除額： $5\text{万円} - 2,000\text{円} = 48,000\text{円}$ 還付金額： $48,000\text{円} \times 20\% = 9,600\text{円}$ ※注 各人が適用されている所得率は収入によって5～40%の範囲で変動します。
備考	上記の還付金額はあくまでも控除の違いを掴んでいただくための簡易計算による金額です。必ず還付される金額ではございませんのでご注意ください。	

※1 … 年間総所得額の40%が限度額です ※2 … 所得税額の25%が限度額です

また、上記の控除に加えて個人住民税の寄付金税額の控除対象となる場合があります。本学院では東京都、埼玉県、更にさいたま市、上尾市にお住まいの方につきましては、条例により個人住民税の控除対象寄付金として指定を受けております。詳しくはお住まいの都道府県・区市町村へお尋ねください。

※領収書の発行について

クレジットカード決済でお申し込みいただいた場合、寄付金が法人に入金されるまでには申込日から通常約1ヶ月半ほどかかりますので、あらかじめご了承ください。また、領収書の日付は、申込日ではなく、クレジット会社から法人に入金された日付となります。そのため、11月以降のお申し込みは、領収書の発行日付が翌年になる可能性があり、その場合は、寄付金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。11月以降のお申し込みで、当年内での寄付金控除をご希望の場合は、郵便振替用紙によるお振込をご利用ください。

○法人の場合

本学院は、日本私立学校振興・共済事業団より「受配者指定寄付金」の承認を受けておりますので、寄付金の全額を当該年度の損金に算入することができます。必要書類はASF事務局より郵送いたします。日本私立学校振興・共済事業団への事務手続きはASF事務局で行い、手続き完了後には日本私立学校振興・共済事業団が発行する寄付金受領書をお送りいたします。

○遺贈等の場合

土地・建物などの現物による寄付についてもお受けいたしております。遺贈の場合には、みなし譲渡所得課税の免税が適用されます。詳細につきましてはあらかじめASF事務局までご相談ください。

ASF 募金「振込用紙」の書き方について

■義援プロジェクト

義援プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。

※この募金は寄付金控除の対象とはなりません。

02 東京		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号 (右詰めにご記入ください)		金額		特別取扱	
0 0 1 1 0 1		5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口		金額		特別取扱	
義援金プロジェクト		東日本大震災救援・復興募金			
(注1)					
加入者氏名		払込人住所氏名		受付局日附印	
通		払込金額		料 金	
信		円		円	
開		特別取扱		特別取扱	
払込人住所氏名		受付局日附印		特別取扱	
裏面の注意事項をお読み下さい。		(私製承認第10096号)			

右詰めにご記入ください

払込票

ご 案 内

- この用紙で送金の場合、送金手数料はかかりません。
- 個人一口 10,000 円、法人一口 100,000 円にきていただくお振込みが、一口未満でも送金をもってお受けいたします。
- 東日本大震災救援・復興募金においては寄付金控除の対象とはなりません。

■募金プロジェクト

下記プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。

- 聖学院幼稚園・小学校建築事業
- 全聖学院奨学資金充実事業
- 施設設備充実 (聖学院大学・大学院・総合研究所・聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院大学附属みどり幼稚園・聖学院アトランタ国際学校 (寄付金控除の対象とはなりません))
- 学校法人聖学院

02 東京		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号 (右詰めにご記入ください)		金額		特別取扱	
0 0 1 1 0 1		5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口		金額		特別取扱	
指定学校名		大学 院		総合研究所	
(注1)		大学 院		総合研究所	
(注2)		大学 院		総合研究所	
(注3)		大学 院		総合研究所	
加入者氏名		払込人住所氏名		受付局日附印	
通		払込金額		料 金	
信		円		円	
開		特別取扱		特別取扱	
払込人住所氏名		受付局日附印		特別取扱	
裏面の注意事項をお読み下さい。		(私製承認第10096号)			

右詰めにご記入ください

払込票

ご 案 内

- この用紙で送金の場合、送金手数料はかかりません。
- 個人一口 10,000 円、法人一口 100,000 円にきていただくお振込みが、一口未満でも送金をもってお受けいたします。
- 東日本大震災救援・復興募金においては寄付金控除の対象とはなりません。

(注1) 個人の募金口 (口数) について

- ・募金は、個人「1口 10,000 円」としておりますが、10,000 円以下の募金でもお受けしております。その際、「口数」の記入は不要です。金額のみご記入ください。

(注2) 募金プロジェクトについてご希望等ございましたら、通信欄をご利用ください。

(注3) 募金される方の氏名、住所をお書きください

- ・「通信欄」の下「空白欄」に、募金される方のお名前、住所を必ずお書きください。(受領書を送付いたします)
- ・匿名希望の方は、その旨お書きください。

■学校法人所定用紙でお振込の場合、送金手数料は無料です。



All Seigakuin Fellowship

学校法人 聖学院

理事長・院長／阿久戸 光晴 副院長／山口 博
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-8351
ホームページ <http://www.seig.ac.jp> E-mail pr@seig.ac.jp

■さいたま上尾キャンパス

聖学院大学大学院

政治政策学研究所／アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所／人間福祉学研究所
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-725-0781

聖学院大学

政治経済学部／政治経済学科 コミュニティ政策学科※
人文学部／欧米文化学科 日本文化学科
人間福祉学部／児童学科 こども心理学科 人間福祉学科
学長／清水 正之
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-781-0925
※ 2014 年度よりコミュニティ政策学科は政治経済学科と一体化して再編しました

聖学院大学総合研究所

所長／高橋 義文
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 聖学院大学内 Tel 048-725-5524

聖学院大学附属みどり幼稚園

園長／山川 秀人
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820 Tel 048-622-3864

■駒込キャンパス

聖学院 中学校 高等学校

校長／戸邊 治朗
〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1 Tel 03-3917-1121

女子聖学院 中学校 高等学校

校長／田部井 道子
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-2277

聖学院小学校

校長／村山 順吉
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1 Tel 03-3917-1555

聖学院幼稚園

園長／佐藤 慎
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2 Tel 03-3917-2725

■米国アトランタ

聖学院アトランタ国際学校

校長／エイハーン みな子
5505 Winters Chapel Road, Atlanta, GA 30360 USA
Tel 1-770-730-0045